



高次脳機能障害家族交流会が開催されました



平成31年3月1日実施

北部保健福祉事務所では、年に4回の高次脳機能障害家族交流会を実施しています。この交流会は、地域で暮らす高次脳機能障害者の方とその家族、支援者が参加し、日頃の苦労や悩みを話して、思いを共有する場となっております。

交流会に参加することにより、他の参加者の体験談を聞いたり、時にはミニ講座で勉強しながらつながりを深めたり、お互いの励みとしていただければ、と思っております。

今年度第4回目の交流会を開催したところ、9名の方が参加してくださいました。この家族交流会では、高次脳機能障害ピアサポートチーム七夕の代表清野智賀子さんがファシリテーターとして参加され、「家族交流会に参加された動機や、家族及び当事者・支援者が最近感じていること」をテーマに、それぞれの立場で日頃抱えている思いを自由に話していただき、参加者で共有しました。

○今回の交流会の中では、周囲の人に理解してもらうために努力するのは大変だが、わかってもらうことは大切であるというお話や、体調によってできたりできなかったりするため、本当はできるのではないかと思われがちであるというお話があったほか、本人が一人で生活する時の手続きなどはサポートが必要であるなどの意見が出されました。

★★★今回のファシリテーター清野智賀子さんからのコメント★★★

家族もいつも笑っていることはできません。同じ悩みを持つ仲間と安心して話せる場で「自分だけじゃない」と思い、支えられることもたくさんあります。

最初の頃は、「隠したい」という思いが強くなってしまいましたが、家族交流会に参加したり、相談窓口に行って支援制度を利用することで、家族自身の応援団を作ることが大切です。まずは、家族自身の人生を大切に、家族が元気になりましょう。



つらい気持ちはなるべく内に秘めないことが大切だと思った。



長年頑張っている先輩家族の話聴いて楽になった。

あまり力を入れすぎず、家族も気を楽にした方がいいと感じた。

これまでの参加者の声

次回の交流会も、皆様の参加を心よりお待ちしております。



申込み・問合せ先：宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班
TEL：0229-87-8011（直通）